

1 絶滅が懸念される野鳥の保護

アカコッコ



アカコッコ は三宅島では身近な鳥として島民に親しまれてきた野鳥。希少な日本固有の種ですが、持ち込まれたイタチによる捕食や噴火の影響で生息数が急減している絶滅危惧種です。

トピック 当会からの働きかけの結果、アカコッコが「種の保存法」の対象種に指定されました。今回の指定を受けて、今後行政との連携で効率よく保護が進むものと期待しています。

カンムリウミスズメ



カンムリウミスズメ は日本近海にのみ生息する小さな海鳥。推定個体数は5千~1万羽程度で、絶滅危惧種に指定されています。

トピック 静岡県下田市の神子元島でGPSロガーという、行動範囲を追跡できる機器を取り付け、回収することに成功し、行動範囲の一部が明らかになりました。今後この結果を本種の保全に活用をしていきます。

オオジシギ



オオジシギ は北海道を主な繁殖地としているシギの仲間で、秋から冬には南半球のオーストラリアで越冬する、準絶滅危惧種の野鳥です。

トピック オオジシギの重要な繁殖地、勇払原野の自然の魅力を普及するシンポジウムを地元の苫小牧市で開催し、当日は140名もの参加者が集まりました。今後も多くの賛同を得て勇払原野のラムサール条約登録を実現できるよう、取り組んでいきます。

2 普及活動

東京港野鳥公園 30周年



トピック 当会が公園運営を行っている、東京港野鳥公園が30周年を迎えました。東京港野鳥公園は、広大な埋め立て地に、自然に池や草原ができたことで野鳥が集まるようになり、その自然を残すための市民運動がきっかけとなり、誕生した公園です。東京湾内の干潟や緑地が少なくなった現在、東京港野鳥公園の自然の重要性はますます高まっています。これからも、多くの生きものと人とのふれあいの場として、より良い環境を次世代に残せるように、取り組んでいきます。是非とも東京港野鳥公園にお越しく下さい。

ツバメを守るための取り組み



トピック より多くの方に、ツバメのおかれている現状や生態を知ってもらい、ツバメの子育てを見守ってもらうため、小冊子「あなたもツバメ子育て応援団」の無料配布を行いました。2019年度は、お申込みのあった個人、団体1,090件に配布しました。

※この冊子は、「里帰りプロジェクト」を通じてのご寄付で制作しています。